

# 株主や投資家が問われるファイナンス事例

銘柄	リプロセル(4978)	アンジェスMG(4563)
上場日	2013年6月(ジャスダック)	2002年9月(マザーズ)
株主数	33,807(2014年3月末)	24,807(2013年12月末)
時価総額 (7月30日時点)	427億円	134億円
ファイナンス手法	“包括的新株発行プログラム” 4度に分けてドイツ銀行ロンドン支店に 第三者割当で各80万株の新株発行 (発行決議日は6月11日、8月19日、9 月8日、11月18日)	“ノンコミットメント型ライツオファリング” 既存株主に1:1の割合で新株予約権付 与。なお新株予約権は、上場されて株主 以外も売買可能。
発行決議日と 払込終了日	2014年6月11日 2014年12月4日	2014年7月22日 2014年9月30日 (※但し新株予約権は8月1日から9月22 日まで東証で売買可能)
発行条件	各発行決議日の時価の9割相当	新株予約権の行使価額は時価の59.9%
調達予定金額と 資金使途	25億円(4回分) M&A資金及び運転資金	93億円 主に新薬臨床試験費用
借株契約	割当先に大株主より貸株実施予定	----
時価総額に対す る調達金額比率	5.8%	69.4%
今期の業績予想 (連結ベース)	売上高 7.6億円 経常利益 ▲1.8億円 (2015年3月期会社予想)	売上高 7.5~8.5億円 経常利益 ▲26~▲24億円 (2014年12月期会社予想)
過去1年以内の ファイナンス	・メルリンチへMSワラント100億円分 相当新株予約権を第三者割当(2014 年1月) (同新株予約権の行使状況は月次で 開示)	・第三者割当増資:投資ファンドから4.9億 円(2014年3月) ・UBSへMSワラント41億円分相当新株 予約権を第三者割当(2013年10月)
証券会社の関与	ドイツ証券東京は、割当者へ仲介(実 質的なアレンジャーと見られる) ※当ファイナンスはMSワラント若しく はCBではないとしているので、証券会 社による自主規制の対象外	藍澤証券がフィナンシャル・アドバイザー 業務 (但し、証券会社によるフィナンシャル・ア ドバイザー業務も引受とは異なり明確な 定義及び自主規制などはない)

※当資料は、両社の記者発表文より作成

※当資料は、2つのファイナンス手法を比較する為のもので、投資判断の為のものではありません。また、企業内容等には触れていませんので、両社のアナリスト・レポート等や両社のIR資料等をご参考ください。

